

WA-001: 微生物活性剤を利用した汚泥減容による、焼却処理に用いる化石燃料の削減

【削減方法】

- 微生物活性剤により汚泥を減容し、汚泥の焼却処理に用いる燃料使用量を削減する。

【適用条件】

- ① 污水処理設備へ好気性微生物を活性化させる微生物活性剤を使用して、発生する汚泥を減容すること。
- ② プロジェクト実施前後で微生物活性剤による汚泥減容以外の污水処理全般(污水発生源等)について、温室効果ガスの排出量に影響を及ぼすような変更がないこと。ただし、汚泥の移送のためのエネルギー使用量の変化についてはこの限りではない。
- ③ プロジェクト実施前後ともに汚泥は焼却処理されていること。また、焼却処理の方法に変更がないこと。
- ④ 汚泥発生量、BOD等の量及び污水処理施設への污水流入量について、プロジェクト実施前1年間のデータがあること。

【ベースライン 排出量の考え方】

- プロジェクト実施後に処理された汚泥を、微生物活性剤を活用せずに処理する場合の焼却プロセスで想定されるCO₂及びN₂O排出量。

【主なモニタリング項目】

- プロジェクト実施前後における汚泥発生量
- プロジェクト実施前後の汚泥処理設備に投入される污水のBOD等の量
- プロジェクト実施前後の污水処理設備に投入される污水流入量

【方法論のイメージ】

